〔平成20年9月29日(月)〕

美しい森林づくりニュース〈NO.97〉

~ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ~

発信元: 林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口 Tel: 03-3502-8111 (内線6216) 03-3501-3845 (直通) Fax: 03-3502-2887

ご意見、ご質問は → https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82 バックナンバーは → http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html

◎ 10月は「間伐推進強化期間」「木づかい推進月間」です!

- 全国各地で開催される各種イベントの紹介 - (森林整備シンポジウム2008in福島) ■

シンポジウムの開催を通じ、間伐の推進や間伐材の利用促進について考え、豊かな森林を守り育て、未来に引き継ぐため、みんなで進める森林づくりの気運を醸成します。

日時:平成20年10月16日(木)~17日(金)

主催:福島県(実施団体:森林整備シンポジ

ウム2008in福島実行委員会)、林野庁

会場:16日シンポジウム

会津若松市 (会津若松ワシントンホテル)

17日現地研修 安達郡大玉村

(フォレストパークあだたら)外

内容:間伐・間伐材利用コンクール表彰、

基調講演 「森林整備新時代の論理と方法」 岩手大学農学部教授 岡田秀二氏

事例発表 協和木材株式会社の取組み 代表取締役 佐川広興氏 (財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

森林交流推進課 佐藤重敏氏

問合せ先:実行委員会事務局(福島県農林水産部森林整備課)024-521-7430 この他、10~11月の間伐推進強化期間中には、33都道府県延べ 62の間伐及び間伐材利用に関するイベント等が予定されています。 (ポスターの掲出)

間伐推進ポスター「樹は熟した。今こそ間伐!!」の掲出

(「木づかい運動」のイベント情報)

10月5日「木づかいシンポジウム2008in新潟」 新潟・朱鷺メッセ マリンホール パネリストに著名人や有識者を招いて シンポジウムを開催

木つかい シンボリクムの007 in 単川

昨年のシンポジウム2007の模様 →



間伐推進のポスター

10月11日、18日「木づかいフォーラム2008」 11日 大阪なんばパークス キャニオン コート

18日 東京ミッドタウン アトリウム(B1) 安藤直人氏(東京大学大学院教授)、 須藤元気氏(木づかい生活応援団)など を迎えてトークセッションを開催



昨年のフォーラム2007の模様

◎ 朱鷺(トキ)が再び大空を舞う ~佐渡で試験放鳥~

- 朱鷺が生息する環境づくり(営巣木等保全整備事業等の実施)-

国内希少野生動植物である「トキ」については、トキ保護増殖事業計画(農林水産省、国土交通省、環境省)に基づき、新潟県佐渡市にある「佐渡トキ保護センター」において人工増殖事業が進められています。

9月25日(木)、この計画に基づく 試験放鳥が実施されました。

佐渡市は国内の野生トキ最後の生息地で、野生復帰は人工繁殖のために最後の5羽が全鳥捕獲された1981年以来、27年ぶりとなります。この日放鳥されたのは、中国から寄贈されたトキから繁殖を重ね、個体数が122羽となったうちの10羽(雄5羽、雌5羽)です。環境省は2015年までに野生のトキ60羽を佐渡市南東部に定着させることを目標としています。

林野庁では、放鳥されたエリア内の松くい虫被害(マツ材線虫病)対策を平成15年度から実施しています。これは、過去において、トキが営巣木やねぐら木として好んで利用していたという記録の多いマツを確



放鳥され27年ぶりに大空を舞うトキ



マツで休息するトキ

実に保全するための事業です。当該地域に生育するマツの高木を対象として樹幹注入等を実施して松くい虫被害の減少に努めるとともに、トキの生息環境の改善や松林の健全化のため、周辺地域における不用木や不良木の除去も実施しています。

民有林と国有林が連携して取り組んでいるこの事業の成果により、野生に放鳥されたトキが、良好な生息環境(営巣木となる松林等)の中で自然繁殖を行い、群れをなして佐渡の大空を舞う姿が早く見られるようになることが期待されます。

© THINK GREEN キャンペーン 2008

僕らがつくる地球の未来予想図

~ 聞いて、考え、一緒につくろう!未来の地球の豊かな森林~

- TOKYO FMをキーステーションに全国34局でON AIR!!-

洞爺湖サミット終了後、地球 温暖化防止へ向けた様々な取組 が本格化する中、二酸化炭素の 吸収源となる森林への期待は、 一層高まりを見せており、森林 を核とした自然環境保護への意 識醸成は、さらに、重要性を増 し、多くの人々の理解と協力を



課長より美しい森林づくり推進国民運動について紹介

特に、次世代を担う若者たち

の協力は、これからの地球の自然環境の保護には不可欠であり、長 い年月がかかり、世代をつなぐ森林づくりは大変重要です。

THINK GREEN 2008では、10代から20代の若者たちを、タ ーゲットに森林づくりの大切さや、暮らしや社会、未来への豊かさ につながることを伝え、森林をキーワードとする地球環境保護の意 識の醸成を図ります(FMラジオ番組の収録)。

※THINK GREEN とは

必要としています。

1998年より(社)国土緑化推進機構が行っている、緑の募金の支援キャンペーン として募金並びに森づくりへの理解と協力を促進することを目的としている運動で、 ☆森林は、私たちの暮らしに大きな影響をもたらします

☆森林づくりには、一人ひとりの力が必要

☆森林との共生の素晴らしさ

を広く皆様に呼びかけています。

(FMラジオ番組の放送)

番組は、柴田玲さん(フリーアナウンサー)と番組パーソナリティーとし て、ブラザー・トムさん、えなりかずきさんが進行役となり、本年 度の「森の"聞き書き甲子園"」に参加する高校生、佐藤千慧さん(東 京都立葛飾総合高等学校2年)、河合和香さん(私立東星学園高等学校3 年)、中村美穂さん(山梨県立甲府城西高等学校3年)、「聞き書き甲子 園」のOB・OGである岡部憲和さん(6期生 東京大学教育学部附属中等 教育学校5年)、安藤愛さん(5期生 筑波大学生物資源学類1年)らと、近 い将来、自分たちが受け継ぎ、創る「豊かな地球環境」について、 若者たちが持つ疑問や意見をもとにディスカッションします。

また、森の専門家として、渋谷林野庁研究・保全課長が参加し、 出演者に森林の機能や「美しい森林づくり推進国民運動」について 語りかけ、冒険家で登山家の三浦雄一郎さん(美しい森林づくり全国推進会議発起人)より世界最高峰のエベレストの現状についてのコメント等が放送されます。



高校生(佐藤さん、河合さん、中村さん)



聞き書き甲子園OG·OB (安藤さん、岡部さん)

10代、20代の若者たちが本音でトークする特別番組を、皆さん、 是非お聞きください。放送は、 $10月4日(土)\sim5日(日)$ です。



詳しくは → http://www.thinkgreen1998.com

O 只今、「緑の募金」2008年秋期キャンペーン中です 皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



※「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。 登録はこちらから → http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html